

# 技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

## 事業実施報告書【カンボジア】

担当講師	小泉 孝史氏（株式会社関電工） 前田 洋介氏（株式会社ミライト・ワン）
実施期間	2022年12月19日（月）～ 12月23日（金）
実施場所	カンボジア王国 プノンペン市 国立カンボジア高等工科職業訓練校（NPIC）
研修	競技課題採点：評価方法セミナー（AMM）
実施職種	情報ネットワーク施工

2023年2月

## 結果概要

1. 対象者数 受講者数 5名 / 修了者数 5名 / オブザーバー 3名  
 2. 日程

日時	指導内容
12月19日(月) 8:30~16:30	<p>【AMM：技能課題採点・評価方法セミナー】</p> <p><u>開講式</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修における注意事項説明</li> <li>・専門家挨拶</li> </ul> <p><u>講習開始</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技課題の説明</li> <li>・単位作業 (メカスプの原理、メカスプ組立、現場コネクタ組立、トレイ収納、融着)</li> <li>・本日の振り返り・質疑応答・明日以降のスケジュール確認・清掃作業</li> </ul>
12月20日(火) 8:30~16:30	<p>【AMM：技能課題採点・評価方法セミナー】</p> <p><u>準備作業等</u></p> <p><u>講習開始</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光課題の実施</li> <li>・光課題の評価</li> <li>・本日の振り返り・質疑応答・清掃作業</li> </ul>
12月21日(水) 8:30~16:30	<p>【AMM：技能課題採点・評価方法セミナー】</p> <p><u>準備作業等</u></p> <p><u>講習開始</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位作業 (Cat.5e, Cat.6, Cat.6A のプラグ、ジャック)</li> <li>・本日の振り返り・質疑応答・清掃作業</li> </ul>
12月22日(木) 8:30~16:30	<p>【AMM：技能課題採点・評価方法セミナー】</p> <p><u>準備作業等</u></p> <p><u>講習開始</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メタルスピードの実施</li> <li>・メタルスピードの評価</li> <li>・本日の振り返り・質疑応答・清掃作業</li> </ul>
12月23日(金) 8:30~16:30	<p>【AMM：技能課題採点・評価方法セミナー】</p> <p><u>準備作業等</u></p> <p><u>講習開始</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メタル課題の実施</li> <li>・メタル課題の評価</li> <li>・本日の振り返り・質疑応答・会場撤収・清掃作業</li> <li>・アンケート実施 (受講者および現地責任者)</li> </ul> <p><u>閉講式</u></p>

### 3. 講評

<小泉講師>

競技大会開催への意識が非常に高い。それに付随し研修に対しての高い志が感じられた。また、2024年までに選手育成、ならびにガイドライン関係を早々に進めていかなければ大会開催は厳しいとも感じられた。その為には今回受講された全員で定期的な会議を開催し検討・決定していくとともにカンボジア国内での機材調達も積極的に取り組んでいくようお願いしたい。国内調達の場合、部材の品質を気にしていたが、まずは大会を開催することが大切で回を重ねていく毎に品質を高め、精度向上に取り組んでいけば良いと思う。

<前田講師>

真剣に取り組んでいる点は良いと思う反面、真面目だがもう少し自由な発想を持って良いと感じた。また日本式の大会に固執しすぎているように感じた。もう少しカンボジアに則した形での運営を考えた方が、競技大会の開催がしやすくなるのではないかと感じた。また、二週間に一度くらい、もう少し高い頻度で三校が集まり、競技大会開催に向けてディスカッションすることも大事だと思う。

### 4. アンケート結果

◆受講者 5 名、オブザーバー3 名（回答者 8 名）

満足度：	大変満足=6 人	満足=2 人
役立ち度：	大変役立つ=7 人	役立つ=1 人
能力向上：	大変向上した=6 人	向上した=2 人
継続性：	是非継続すべき=7 人	継続すべき=1 人

#### 【改善点・提案】

- ・ 事前に荷物を送る必要があると思う。
- ・ このトレーニングプログラムが長く続いてほしい。(2)
- ・ Wi-Fi 構成と IoT デバイスに関する追加のトレーニングを行ってほしい。
- ・ 期日通りに荷物をカンボジアに送ってほしい。しかし、今回は十分勉強になった。
- ・ このコースは就業時間内に行うべきで、少なくとも 10 日間は必要である。そうすれば、受講者はもっと練習する時間を持つことができると思う。

#### 【意見・感想・実施希望】

- ・ メカトロニクス
- ・ 電子
- ・ モバイルロボット (2)
- ・ ネットワーク システム構成
- ・ 空気圧 SCADA (Supervisory Control And Data Acquisition)
- ・ PCB (Printed Circuit Board)の設計と組み立て、配管
- ・ 配管、産業用制御
- ・ ネットワークケーブルの管理
- ・ カメラセキュリティの設置
- ・ ネットワーク管理

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続性： 是非継続すべき=0人 継続すべき=1人

**【改善点・提案】**

- ・ 資料や資料リストは早めに送ってほしい。

**【意見・感想・実施希望】**

- ・ メカニックおよび PCB の設計と組み立て